

平成 30 年度事業報告

〔自 平成 30 年 4 月 1 日 ～ 至 平成 31 年 3 月 31 日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、夢があって、ワクワクして、躍動感があり、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切に協会の運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。
- 【2】 会員のボランティア参加登録を積極的に勧めると同時に、ボランティアが活動しやすい環境作りに努め、ボランティア活動の裾野を広げた。
- 【3】 会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運営業務

(1) 会議体

① 理事会

4月16日(月)臨時理事会(総会提案事項の最終審議)、5月19日(土)臨時理事会(理事長、事務局長の選出、理事担当業務決定)、8月27日(月)定例理事会(平成31年度修正予算案審議 他)、1月21日(月)運営委員会・理事会の合同会議、3月18日(月)運営委員会・理事会の合同会議(総会での審議事項他)を実施。

② 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。平成30年度は4回開催。

③ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者などが参加、事業執行の円滑化を図ると共に事業の運営管理を行なった。平成30年度は4回開催。

④ 総会

5月19日(土)、第16回通常総会開催。

会場出席者 29 名、議決権行使による出席者 157 名の審議により、平成 29 年度事業報告及び決算報告、平成 30 年度事業計画及び活動予算に関して提案通り可決された。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県 NPO 事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス（法令遵守）を徹底した。
- ⑤ 平成 30 年 8 月に横須賀市指定資格の継続を申請し、平成 31 年 1 月 1 日付にて継続認可となった。

(3) 情報提供

- ① 情報紙発行
ニュースポット：7 月に 66 号、1 月に 67 号発行 部数は 66 号 1,500 部、67 号 1,500 部
- ② メールマガジンで月 1 回の情報提供
会員に対して事業活動の案内やボランティア活動への参加・協力をお願いなどを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。
メールアドレスの無い希望者には、FAX や郵送で同じ情報を提供した。
- ③ ホームページによる情報提供
ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

II 自主事業

(1) 国際協力支援事業

- ① 窓口翻訳
外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行い、平成 30 年度は合計 120 件の実績であった。
- ② 通訳・翻訳
横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。
通訳 12 件、翻訳 21 件
- ③ 国際貢献 フェアトレードコーヒー販売（決算数値）
国際貢献の一環として、フェアトレード取扱商品であるネパールコーヒーを販売した。
・事務所での袋売り：108,000 円
・イベントでの販売：137,150 円（JFY・懇親会・ボランティア交流会）
合計額：245,150 円
- ④ 商工会議所パートナー事業
商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。
このパートナー事業も 6 年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。

⑤ 商工会議所幹旋の上町連合商店街出前英会話教室

商工会議所の幹旋により、今年度も上町商店街の会館で「店頭英会話教室」を開設した。常時十数名の参加があり非常に好評であった。また、4月から6月まで汐入整骨院 横須賀鍼灸院で、接客英語の習得を目的に出前英会話教室が行われた。

⑥ 11月3日、4日開催の「よこすか産業まつり」で、商工会議所創立90周年に因み、国際交流ゾーンが設けられ、横須賀市国際交流課と共同参加した。他に、中国・韓国・フィリピン・インドネシアの国々も参加した。

(2) 国際協力交流事業

① 世界の料理教室

世界各国の講師による家庭料理に親しみながら様々な国の生活・文化・習慣などを学び、国際理解の推進を図った。

第1回	6月12日(火)	ペルー(ロミ・アセベド・大下、タマラ・ヤノス)	参加者26名
第2回	9月11日(火)	イタリア(梅津昭子)	参加者31名
第3回	12月12日(水)	中国(山崎秀宏)	参加者24名
第4回	2月20日(水)	フィリピン(ヘイゼル・ボッシィ)	参加者25名

② 5月10日(木)～5月15日(火)に開催されたANA ウインドサーフィン ワールドカップ横須賀大会現地及び近隣の宿泊施設に通訳ボランティアを派遣した。

ボランティア13名

(3) 国際協力啓発事業

① 外国語講座

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座を開催した。新たな試みとして、幼児クラスも開講した。

1学期：講座数17クラス、講師数10名、生徒数177名

2学期：講座数17クラス、講師数10名、生徒数176名

3学期：講座数17クラス、講師数10名、生徒数176名

出前英会話講座：ハッピープリスクール

(4) 自主活動

① ボランティア交流会

・4月7日(土)講演会

第1部 被災地訪問報告「つるし雛報告」 眞汐優子、多賀名和枝

第2部 被災地への視察や支援報告「3.11つなぐっぺし」逗子市、葉山町の中高校生

参加者48名

② ホームステイ・ホームビジット

今年は依頼が無かった。

③ 国際理解講座

横須賀市内の小・中・高校・大学の学校現場や公的な施設からの依頼により外国人講師を派遣し、国際理解講座を開催した。

外国人講師からその国の民族、文化、歴史、遊び、スポーツ、言語などについて、時には民族衣装などの実物を用いたり、パソコンで映像を見せたりしながら講義をしてもらった。

明光高校

4月27日（金）（ネパール・ロシア・韓国・中国）7クラス

5月25日（金）（ネパール・ロシア・韓国・中国）8クラス

6月8日（金）（ネパール）1クラス

参加者 88名（内講師 8名）

生涯学習財団市民大学国際交流講座に講師派遣

10月19日（金）英国、10月26日（金）ロシア、11月2日（金）中国、

11月9日（金）カナダ、11月16日（金）韓国、11月23日（金）アメリカ（ニューヨーク）、11月30日（金）ネパール、12月7日（金）アメリカ（アリゾナ）

全8回 参加者 30名/各回、講師 8名

国土館高等学校昼間定時制課程1年生 移動教室（横須賀市内にて外国人との国際交流）

6月7日（木）ヴェルクよこすか オリエンテーション どぶ板・ヴェルニー公園散策他

参加者 58名（内 学生 44名、外国人 7名、その他 7名）

④ 英語ガイドツアー

英語でのツアーを開催し、外国人との交流を図った。

第1回 6月2日（土）くりはま花の国

参加者 21名（内外国人 8名）

第2回 12月1日（土）浦賀

参加者 28名（内外国人 13名）

Ⅲ 受託事業（横須賀市）

(1) 国際協力支援事業

① 外国人生活相談

横須賀に在住・在勤・在学する外国人が、生活の場で出会う悩み、問題などの相談に応じた。

4名の相談員が言語別に曜日を決めて対応。 相談件数 143件

国別では、フィリピン 41件、ペルー 38件、日本 24件、タイ 13件、ネパール 13件、

中国 6件、韓国・朝鮮 3件、ブラジル 3件、アメリカ 2件、

・1月9日（水）生活相談員勉強会：「生活保護制度における支給について」 参加者 10名

② 日本語会話サロン

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもとに、年間で310回の教室を開き、受講者の参加延べ人数は2,889名だった。

・日本語指導講座（入門編）：4月7日・14日・28日（土）

参加者 24名

- ・学習会：6月2日～9月15日の毎土曜日 全15回
日本語指導講座を経て新規に加入したボランティアに、会話サロンで活動するために必要な日本語文法等を学ぶ機会を提供するとともに、既に会話サロンで活動中のボランティア初心者のレベルアップを図った。参加者 19 名
- ・指導者交流会：1月26日(土)
日本語ボランティアのスキルアップとサロン間での交流機会を設けることを目的に、一般財団法人自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザー派遣サービスを活用し、「やさしい日本語研修会」を開催した。参加者 33 名

③ 外国人防災啓発事業

災害時に「要援護者」となる外国籍市民を支援するため、横須賀市の関係部署との連携により市内在住の外国人に対して災害支援活動を実施した。

- ・11月17日(土)横須賀市民防災センター「あんしんかん」で外国人のための防災講座を実施した。参加者 39 名 (内外国人 6 名)
- ・2月3日(日)「ジャパン フェスティバル イン よこすか」で防災コーナーを設置した。参加人数 134 名 (内外国人 80 名)

(2) 国際協力交流事業

① キッズフェスティバル

日本人と外国人の子供たちが集まり、ゲームや仮装コンテストなどを行なった。家族で参加する、協会唯一の子どもの行事である。

10月8日(月・祝)(ヴェルクよこすか)

参加者 226 名 (内：外国人参加者 55 名、外国人ボランティア 5 名)

② 日本文化体験教室 (JFY) 年 3 回開催

流派・教室・家元等の制度を越えて日本文化を紹介するグループが、横須賀市及び近隣に在住・在勤・在学する市民および外国人を対象に体験教室を 3 回開催した。このうち 1 回は規模を大きくし、「ジャパン フェスティバル イン よこすか」を実施し、日本人と外国人の交流に重点を置いたイベントとして開催した。

・日本文化体験教室

生け花・折り紙・着物・書道・茶道・日本舞踊・琴・三味線/大正琴の 8 部門

第 1 回：6月16日(土)

参加者 282 名 (内：外国人 152 名、日本人 19 名、ボランティア他 111 名)

第 2 回：9月29日(土)

参加者 296 名 (内：外国人 133 名、日本人 65 名、ボランティア他 98 名)

第 3 回：2月3日(日)第 24 回ジャパン フェスティバル イン よこすかと合同開催

参加者 1,409 名 (内：外国人 636 名、日本人 491 名、ボランティア他 282 名)

・第 24 回ジャパン フェスティバル イン よこすか 第 3 回日本文化体験教室と合同開催

ステージ：和太鼓、モンゴル舞踊、武道(空手)、ズンバ、津軽三味線と唄、武道(杖道)、

琉球舞踊、ゴスペル、第7艦隊バンド、サリヴァンズスクール クワイヤー
展示：横須賀の歴史、つるし雛、防災コーナー、姉妹都市交換学生事業、日本語会話サロ
ン紹介コーナー

体験：日本文化体験教室8部門の他に囲碁、甲冑隊、武道（空手）、武道（杖道）、パッチ
ワーク・キルト、あそびコーナー（手作りおもちゃ、日本のあそび、けん玉、
紙芝居）、絵手紙、和太鼓

- ・その他に、湘南国際村、米海軍基地、姉妹都市交流などからの依頼に対して、体験希望者の受け入れや講師の派遣を行った。

(3) 国際協力啓発事業

① 国際ユースフォーラム

姉妹都市や市内の青少年が集い、それぞれの都市の紹介や意見発表などを通じて、交流と相互理解を深めるため、国際ユースフォーラムを実施した。

- ・8月1日（水）横須賀市役所 302

第一部：姉妹都市と横須賀市の交換学生によるプレゼンテーション、スピーチ

第二部：交流会

今年度は台風の為、7月28日（土）に予定したものはキャンセルし、8月1日（水）に縮小して実施。

参加者 33名（内：外国人発表者 6名）

(4) 姉妹都市交換学生派遣・受入事業

① 交換学生の派遣

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流のあるコーパスクリスティ市（アメリカ）、ブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）の各都市に2名、メッドウェイ市（イギリス）に1名、計7名を交換学生として派遣した。

派遣学生は国際理解を深めるとともに、姉妹都市との交流を通じて、姉妹都市やその国々との相互理解、友好関係を深め、ひいては、国際平和に資することを目的とし派遣した。

横須賀市の親善大使として、ホームステイをしながら交流を深め、横須賀や日本の文化、魅力を各姉妹都市に発信するとともに、姉妹都市の文化、魅力を学び、横須賀市民に伝えることを今後の課題として活動を行なった。

② 交換学生の受入

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流としてブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）、メッドウェイ市（イギリス）、各都市から2名、計6名を交換学生として受け入れた。 受入家庭（6家族）

メッドウェイの学生は、滞在期間を横須賀と伊東市で半分ずつ過ごした。

姉妹都市の高校生が横須賀市で生活することによって、日本文化、横須賀の文化に触れると共に各自国の文化を紹介してもらい、帰国後は横須賀市を広く紹介してもらおう。

又、ホームステイ受入の家庭には、姉妹都市の高校生との生活を通して多文化共生を体験し、市民レベルの国際交流の担い手となっていただけるようお願いした。

今年度はコーパスクリスティ市は不参加となった。が、来年度は参加予定。

- ・姉妹都市交換学生プログラム写真展

3月5日（月）～4月13日（金） モアーズシティ

9月20日（木）～9月30日（日） モアーズシティ

IV その他の事業

今年度は、その他の事業（収益事業）に係る活動は実施しておりません。